

平成25年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000327	事業の開始年月日	平成23年4月1日
		指定年月日	平成23年4月1日
法人名	有限会社 三上		
事業所名	グループホームみかみ		
所在地	( 245-0067 ) 横浜市戸塚区深谷町1234-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1 ユニット
自己評価作成日	平成25年10月8日	評価結果 市町村受理日	平成26年1月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1491000327&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100">http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1491000327&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者に対しては一人ひとりの性格や生活状況を把握しその人らしい生活を送れるよう、その人らしい笑顔になってもらえる様に支援しています。また家族支援も大事に思っています。グループホームで生活すると決めた時からご家族の不安や心配は始まります。ご家族の話を良く聞き、コミュニケーションを大切に、安心して見守って頂けるよう努力しています。また利用者の体調管理に気を配り早期発見に努めています。入院してADLが下がってしまったもスタッフ一丸となりまたホームで暮らして行けるよう支援し続けます。実際医師から、もうホームには戻れないと言われた利用者もご本人とご家族とスタッフの力で復帰できた事例もあります。諦めない気持ちがスタッフにはあります。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成25年11月11日	評価機関 評価決定日	平成25年12月20日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームはJR大船や戸塚駅からバスで約15分葉大南門下車すぐの場所にあります。小規模多機能型居宅介護施設「みかみ介護支援センター」と併設しています。運営法人は、このほかにも都内で「世田谷事業所」を運営しています。法人代表兼管理者と職員間は、とても気さくで親近感のある関係がうかがえます。管理者のバイタリティーとリーダーシップのもと、職員一丸となって利用者の支援に努めています。

<優れている点>

地域に根ざし、行政との連携もよくとれています。町内会、多数の民生委員、地域包括支援センター、近隣の地域NPO法人や小学校など、地域住民と良好な関係を築いています。毎日のように来訪し、お茶を飲んで話しをしてみたり、野菜などのおすす分けをしてくれる近隣の方もいます。行政とは、区の高齢・障害支援課や保護課、ケアプラザなどと密に連携を取り、協力関係を築いています。区主催の認知症フォーラムでは依頼を受けて、グループホームや認知症について解説したり、ケアプラザのリハビリ研究会にも参加しています。

<工夫点>

連絡ノートや日誌のほか、毎日メール配信をして利用者の様子や気にかけることなどを職員間で共有し、利用者の笑顔が見られるように支援しています。また、毎月家族に送付している「めえ〜めえ〜通信」には、利用者の様子と共に毎日の体温や血圧を折れ線グラフで表し1ヶ月の推移が一目で分かるように工夫しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみかみ
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念を共有するようにしています。何か問題が起こった場合は理念を振り返り、皆で相談しながら答えを出しています。就業規則の1ページに載せ、理解してもらえよう説明し、共有しています。	理念と共に「3つの約束」を掲げ、ホーム内に掲示し職員に周知しています。管理者は、利用者のためにどうしたらよいか考えることが大切と伝えています。また、よりよい支援ができるよう具体的な行動指針を作成して、職員の意識向上を図っていく考えです。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に参加しています。施設での催しの際には地域の方にも声掛けをし、徐々に交流の機会が増えています。地域の方にも気軽に立ち寄っていただけるような雰囲気作りを心がけています。	町内会、多数の民生委員、地域包括支援センター、近隣の地域NPO法人や小学校など、地域住民と良好な関係を築いています。日常的に来訪し、お茶を飲んで話しをしたり、野菜などのおすそ分けをしてくれる近隣の方もいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域に根ざしているのを感じるのは、相談件数が多くなっていることです。個人からの連絡も多く、直接契約に結びつかなくとも、地域の方々の相談相手に現在もかかわっています。代表者は地域集まりのアドバイザーや講師として招かれています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営会議を定期的に行ない、その都度状況報告しています。推進会議では地域住民の意見も聞くことができるので、議題になった意見は参考にしています。口コミで参加したいという民生委員さんもいました。	会議は2ヶ月ごとに開催し、ホームからは活動状況の報告、要望や助言への回答をしています。委員からは行事企画にあたって落語家や音楽の先生を紹介してもらったり、駐車場を教えてもらうなど助言を得ており、会議が有意義なものとなっています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	行政担当者とは密に連携をとっています。相談のあったご家庭に行政の方と一緒に訪問をし問題解決に取り組んでおり、積極的に協力体制をとっています。	区の高齢・障害支援課や保護課、ケアプラザなどと密に連携を取り、協力関係を築いています。区主催の認知症フォーラムでは依頼を受けて、グループホームや認知症について解説したり、ケアプラザのリハビリ研究会へ参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全体ミーティングで身体拘束を議題に勉強会を開き、身体拘束を「しない！」「させない！」「されたくない」をモットーに、ケアに取り組んでいます。	全国の施設で起きた事例を基に、身体拘束廃止や虐待防止の勉強会を行って職員の意識を喚起しています。職員は利用者の様子に気を配り、落ち着かない利用者には、散歩に出たりして気分転換を図ってもらっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体ミーティングで高齢者虐待防止法について勉強会を開き、理解を深めています。利用者家族に対しても、面会時に利用者への接し方を説明したり、話を聴くことで、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者は成年後見制度について理解しており、必要と考えられる利用者や家族に勧めています。またご家族の要望などにも話し合いを持っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、解約又は改定などの際についての内容説明は、十分ご理解いただけるよう、ご利用者ご家族に説明させていただいています。管理者・ケアマネに気軽に話し合いをもてるような体制にしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員がご利用者とのコミュニケーションを大切にしており、要望などがあれば、すぐに管理者、ケアマネに相談できるように体制にしています。要望があれば真摯に受け止め運営に反映させます。	来訪時やメール、電話のほか、ケアプラン作成時に用紙を渡して要望を聞いています。家族間の要望が相違する場合には、皆に来訪してもらい話し合いの場を設けて調整しています。家族の要望を受けて病院との交渉をしたりするなど、意志を尊重して支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にミーティングを開き、職員の提案、意見を積極的に取り入れ実践し、運営に反映させています。日々の気付きについては、連絡ノートを設け、風通しの良い職場をめざしています。	法人代表でもある管理者と職員間には、とても気さくで親近感のある関係となつています。日常の会話はもとより、ミーティングでも活発に提案が出て、運営に反映しています。	職員の声を反映した業務の改善は多々ありますが、惜しいことに記録に残していません。経緯・動機を記録し共有する事により、事業所の歴史が引き継がれ、更なる改善に繋がることも期待されます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の職員の実績を把握し、給料に反映しています。又、各スキルアップのためのインフォメーションを流し、向上心を持てるような環境を整えています。更に役割りを分担する事で職員一人ひとりがやりがいの持てる職場環境を目指しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	実習型雇用・中高年トライアル雇用の採用をし、実習計画に沿って指導にあたり、ケアの向上を図っています。新人スタッフには熟練スタッフが指導にあたり、個々に合った研修を勧める等スキルアップに繋げています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	主要なスタッフが小規模・グループホームなどの見学をしています。又、グループホームの研修会に参加し他事業所の職員と交流できたり、グループホーム連絡会に加入し、情報収集や意見交換をしています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用者との信頼関係が一番大切なことです。不安なこと、要望についてなど十分にご利用者と話し合い安心して過ごしてもらうようサポートしています。何気ない会話を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族がどのような問題点を抱えているのかを十分な話し合いの中で捉え、問題解決のためにどのようなサービスができるかを一緒に考え信頼関係を築いています。面会時に話やすい環境を作っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初めに「何を必要としているのか」を見極め、安心して生活を送るためのケアプランを提示し、ご本人ご家族が速やかに安心した暮らしができるように取り組んでいます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者のできる事、出来ない事をスタッフが把握することで、家事仕事等個人にあったお手伝いをして頂いています。男性スタッフは調理を教えてもらい、ゆっくりと話をする時間としても活用でき、有意義な時間となっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	グループホームならではのご家族も参加しやすい雰囲気作りを目指しています。		
20	8	○馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご利用者の方は、昔からの馴染みの場所・人をととても懐かしがられます。昔話に耳を傾け思い出を大切にしています。また、連絡を取りたい方には、電話・手紙などでの連絡を積極的にお手伝いしています。	家族と泊まりがけで墓参りに行く方や元の職場の仲間が来訪する方もいます。行きつけの床屋に行く方には同行するなど、馴染みの関係が継続するように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	定着した人間関係の中で、お互いに思いやる気持ちや支え合う場面が増えました。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入所中からご家族との関係を大切にしているので、サービスが終了した後も気軽に連絡がとれる関係にあります。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常にご利用者とコミュニケーションをとり、希望・意向に添えるように努力しています。	日々の会話、表情や顔色から、利用者の思いの把握に努めています。また、日頃の言葉や様子、気をつける事柄などを、連絡ノートやメール、日誌などに書きとめています。職員間で共有し、利用者の笑顔が見られるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	他業者から引き継ぐ場合も、これまでのサービス利用の経過を把握し、利用者の生活歴も含め理解を深めています。ご本人の気持ちを重視し、出来る限り生活環境が大きく変わらないよう配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々のきめ細かな介護記録で、一人ひとりの心身状態を把握しています。また、スタッフの引き継ぎを綿密にし、一人ひとりの日常を把握することに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の暮らしで変化する事柄などの現状を把握し、管理者・ケアマネ・職員は常に意見交換をしています。その上で利用者のより良い環境を整えるための介護計画を立てていけるようにしています。	介護計画は、本人や家族の意向、医師や看護師の見解、カンファレンスおよび日常の会話から職員の意見を聞いて作成しています。初回は2～3ヶ月、以後は6ヶ月ごとに、また必要に応じて随時見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は介護記録に記入しています。また、気づきや工夫を介護記録に書ききれない日もありますが、職員間での情報は共有し、その手段として連絡ノートや携帯メールを活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存のサービスに捉われない、利用者やご家族が生活を実感できるサービスの提供を心がけています。四季折々の催しを大切にしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方の協力により行う催し物が増えています。小学校の子供達や、サークルの方が来訪して下さる事で、利用者一人ひとりが地域との交流を楽しんでいます。こういった機会をもっと増やしていきたいと思えます。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の定期受診（訪問診療）及び週1回の訪問看護、24時間対応看護で、しっかりと連携がとれています。利用者、ご家族が共に安心できる体制になっています。	利用者は皆、了解のもとホーム提携医をかかりつけ医としています。提携医による月2回の訪問診療と提携看護師による週1回の訪問看護により健康管理をしています。診断、治療が必要な場合にも24時間対応できる体制が整えられています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、日常の変化や気づきを看護職員に伝え、随時適切な指示・判断を仰ぎ、ご利用者の身体安全を第一に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際、地域連携室を通じて病院に速やかに情報提供しています。病院側からも入院状況及び退院に関して事前に詳細な情報提供があり、現在の連携は良好と考えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所開始時から、本人ご家族と終末ケアについて話し合い、相互理解を結んでいます。終末ケアをした経験を活かし、事業所として出来ることの方針を示し、地域関係者と共に支援していきます。	入所時に、利用者・家族に重度化の指針について説明し、理解をもらっています。今年度、終末期の対応に関して経験しています。その後、職員全員の研修を行っています。今後も対応するために協力医療機関と密に連携し、支援に取り組んでいます。	代表も認識していますが、今後は、職員の心構えや支援の流れ、事業所で現段階で出来る支援について再確認するなど、早い段階から方針を明確にし、職員間で意識を共有することについての検討も期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	利用者の急変があり、再度、急変時対応について勉強会を開催しました。緊急時連絡も職員全員が周知していますが、定期的な訓練も消防署の協力を得ておこなっています。具体的な応急処置は看護師の指示を仰いでいます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災報知器の使い方の実地訓練。また、安全に避難できるように、消防職員による消防訓練を実施。利用者・職員が安全に避難できるよう定期的に開催しています。	年2回、消防署指導のもと夜間想定通報・消火・避難訓練を実施しています。地域住民も参加しています。AEDでの救命訓練も行っています。台所は火事や火傷の危険が少ないIHヒーターを使用しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーの確保はケアするにあたっては必須のことと認識しており、利用者の尊厳を大切にしています。利用者と接するうえで一人の人格として接し、職員にとって親・祖父母のような存在になっています。	職員と利用者の接し方について重要と考え、人格を尊重した接遇を心掛けています。特にトイレ、入浴の際はプライバシーの配慮に気をつけています。また、個人情報については鍵のかかるロッカーに保管し、ルールに基づき十分な管理を行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員とのコミュニケーションがとてもうまく取れており、気軽に希望などを話していただきます。すぐに対応できることは実現しています。自己決定の支援を大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	午前中は必ず体操や歌、ゲーム等のレクリエーションを行ない、活動を促す一方、自由な時間も設けるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご家族の支援により、みなさん身ざれいにされています。又、事情によりご家族からの支援を受けることができない利用者にはスタッフや知人からの寄付により、その人らしい装いができるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	外部委託食材を使用。利用者と共に調理、盛り付け、配膳をしています。おやつの中にはスタッフも同席し会話を楽しんでいます。	食材は外部に委託しています。地域の方々から野菜類を頂くこともあります。利用者は調理、盛り付け、配膳、洗い物など協力しています。パンケーキなどのおやつは利用者と一緒に作っています。誕生日には、家族からケーキが提供され皆で楽しむこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分チェック表にて一日の水分量を把握するようにしています。また、必要があれば水分にトロミをつけます。食事に関しては個人の状態に合わせた形態にし、ソフト食にも対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食事後に声かけをしています。介助が必要な方には職員が介入し、口腔ケアには力を入れています。又、歯科医師による講習会を利用者、スタッフが合同で行なう事で、口腔ケアの必要性を理解して行うことができます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック24時間表を作り、一人ひとりの時間を把握し、排泄パターンを把握しています。なるべくトイレでの排泄をするよう、職員一同声かけ誘導をしています。	1枚の用紙で24時間の水分摂取と排泄チェックを連動してみることにより、一人ひとりの排泄パターンを把握し、誘導してトイレでの排泄の支援をしています。トイレでの自立排泄をできるようにするため、竹踏みなど軽い体操をするようにしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	野菜の多いメニューを作ってもらっています。牛乳やヨーグルト、個々に応じた服薬、また、散歩などで便秘の解消を心がけています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日の設定はありますが、半身浴をゆっくり楽しまれたり、スタッフと一対一の空間なので穏やかに昔話をしてくださる等、一人浴槽での入浴を楽しまれています。希望があれば好みのシャンプーやリンス、ボディークリームを使って頂きます。	一人ずつ順番でゆっくり(20~30分)少なくとも週2回は入浴しています。職員は一対一で入浴支援しています。電動リフト付きで入浴される方もいます。ゆず湯やしょうぶ湯も行っています。入浴を拒む人には無理強いせず、翌日入浴するようにしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの習慣、その日の体調に合わせて、ゆっくり過ごせるようにしています。部屋の温度・調光にも配慮し、快眠につなげています。集団行動に捉われず、一人ひとりのペースを大切にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者の服薬管理は薬局さんが二週間単位で管理しています。ほとんどの利用者が服薬されているので、状態観察をしっかりと行なうことで、症状の変化に気を配っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	通信カラオケを導入する事により、孤立しがちだった利用者が他利用者の輪の中に入りやすい環境をつくりました。家庭菜園をすることで、花や野菜の水やりや収穫を楽しまれています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望により買い物に行ったり、地域の行事に参加するようにしています。	週に一回は散歩に行っています。散歩のボランティアの方と一緒にいくこともあります。初詣や桜見、薔薇見、さつまいも掘りやミカン狩り、いんげん収穫など季節を感じる外出をしています。入口側ガラス部は日当たりが良く、朝5～6人で日光浴をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物支援をしています。一緒に買い物に行き、金銭の管理もご本人がしています。金銭管理をしていない人も、買い物はとても気分転換になるので、利用者の楽しみです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に電話をかけていただいています。連絡をとっていなかった遠く離れたご家族にスタッフが手紙を代筆し交流をもつことができました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者が庭の周りの草花を施設に飾ってきれいにしてくれます。施設内では普段からさまざまなジャンルのBGMを流しリラックスできる環境作りや、イベント時の写真をフロアに飾ることで、利用者同士の交流のきっかけを作っています。	毎朝掃除をして清潔を保ち、温度・湿度管理をしています。特に寒くなると乾燥しやすく、濡れタオルを手すりにつけ対応しています。壁にはイベント時の写真を飾っています。共有空間は広い長方形で舞台と客席にもなり、落語や演劇も行っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファをテレビ前に置き、くつろげる空間をつくっています。又、玄関入口にはウッドデッキや玄関横には畳のベンチスペースがあり、日当たりが良く利用者の憩いの場になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人、ご家族の意向を大切にしています。思い出の写真や愛着のある物を居室に置くことで、居心地の良い空間をつくる事に配慮しています。	居室は約5.5畳の部屋ですが、天井が高く圧迫感はありません。備え付けとしてはエアコン、照明、カーテン、扇風機などがあります。利用者の好みの物、必要なものとしてテレビ、仏壇、自作の絵（A3サイズ位）などを持ち込んでいる人もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	今出来る事を続けられるように、手すりの取り付けや風呂場で滑らないような工夫をし、安心して過ごせるよう心がけています。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム みかみ

### 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員から出た意見や提案が記録に残されていない。意見が反映された経緯・動機を記録に残し今後の運営に役立てる。	職員が意見を言いやすい環境を維持していくと共に、運営に反映された意見、反映されなかった意見を見やすく記録に残す。	スタッフから出た提案や意見は実行するしないに関わらず、記録に残す。	1ヶ月
2	33	終末期における職員の認識を再確認する。併せて支援方針を明確にしておく。	ご利用者様が穏やかに終末期を迎えられるように、現場のスタッフが支援方針を共有することができる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・終末期のご利用者様に対する一連の支援の流れを表にしてスタッフルームに貼る。</li><li>・ご本人様、ご家族様の意向を早期に確認し、スタッフが気持ちを共有できるようにする。</li></ul>	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月